

25・J1

# 国語

## 注意事項

1. 「開始」の合図があるまで、問題をひらいてはいけません。
2. 問題は 一 から 二 まで、8 ページまであります。
3. テストの内容に関する質問は一切できません。
4. 答えはすべて解答用紙に記入してください。
5. 気分が悪くなったとき、筆記用具を床に落としたときなどは、手を挙げて監督者に合図してください。
6. 「終了」の合図があったら、すぐに筆記用具を置いて、監督者の指示にしたがってください。

受験番号

氏名



一、  
1、10のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。(送りがなも書くこと)

- 1 入り口でしょっけんを買ってください。
- 2 年度の古いものはじよがいて数える。
- 3 私の実家はきぬおりものをあつかう店だ。
- 4 めいろのような道に入り込む。
- 5 私の担任の先生は経験ほうふな人だ。
- 6 みんなでうさぎをしいくする。
- 7 海にのぞむ部屋に宿泊する。
- 8 正しいしせいはずつかれが少ない。
- 9 風情のある庭。
- 10 蚕はまゆの中でさなぎとなった。

## 二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

ダーウィンが進化論のヒントを得たとされるガラパゴス諸島は、言わずと知れた希少生物の宝庫だが、その環境も変わりつつある。いまや、島の名の由来でもあるゾウガメも激減し、絶滅危惧種に指定されてしまった。

ガラパゴスでは、陸で暮らすイグアナと海で暮らすイグアナの二種類が、別々に暮らしてきた。しかしある時、海水温の上昇で、海イグアナの餌となる海藻が激減した。命を落とす海イグアナが数多くいた中で、陸に這い上がって、陸上の食べ物を求めるオスも現れた。そのオスたちが陸イグアナのメスと子どもを作った。その子どもが「ハイブリッドイグアナ」で、二一世紀になって発見されている。陸イグアナは鋭い爪がなく、餌であるサボテンに登ることができない。もっぱら地上でそれが落ちてくるのを待つしかないのだが、ハイブリッドイグアナは父親の海イグアナ譲りの鋭い爪を持ち、海藻を採ることも、サボテンによじ登ることもできる。

①それが落ちてくるのを待つしかないのだが、ハイブリッドイグアナは父親の海イグアナ譲りの鋭い爪を持ち、海藻を採ることも、サボテンによじ登ることもできる。

②いいところ取りの新種で、陸地を闊歩して幅を利かせる存在となった。ところがハイブリッドイグアナには重大な欠陥があった。繁殖能力がないのである。

③一代限りの命しかなく、子孫を残すことができない。

これを進化と呼ぶかどうかは別として、環境変化に適應することは生き抜くための条件であると、ダーウィンも言っている。しかし、このところの地球環境の変化は目まぐるしい。かつてないほどのペースで地球が温暖になっている。二〇一九年の陸地の気温は観測史上二番目に高温となっただけでなく、海水温も史上最高を記録した。陸海とも、二〇一〇年から一九九九年は記録の残る中で一番暑い一〇年となった。

④この環境の急変は、生態にどのような影響を与えているのだろうか。直近の異常な天候に焦点を当てて、それがもたらした結果について探してみたい。

オーストラリアは、世界一乾燥した大陸である。山火事は日常茶飯事であり、多数の生物が火災でも生き延びられるよう独特の進化を遂げてきた。

C オーストラリアの植生の四分の三を占めるユーカリは、自ら引火性のガスを出して火を拡大させ、種も山火事がきっかけで発芽する。こんな戦略をとるのは、火災で他の植物がいなくなった後に、

D

二〇一九年からオーストラリアの南東部を中心に起きている山火事の焼失面積は、日本の国土の二分の一に相当する一八〇〇万ヘクタール以上に及ぶ。世界遺産のブルーマウンテンズはその八割が焼けてしまった。原因は二〇一七年から続く記録的な干ばつにある。追い打ちをかけるように二〇一九年は、オーストラリアの観測史上もとも雨が少なく高温な年となった。

シドニー大学の推定によると、④この森林火災により二億匹もの生物が犠牲になったという。これは爬虫類、哺乳類、鳥類の数で、昆虫などは含まれない。「有袋類のネズミ」と呼ばれるダンナートなどのいくつかの動物は絶滅したかもしれないと囁かれている。

コアラは、ニューサウスウェールズ州だけでも州全体の頭数の三分の一にあたる八〇〇頭が、また南部のカンガルー島にいたっては、島全体の五〇%にあたる二万五〇〇頭が死んだ可能性があるという。コアラはかわいい反面、のろい、偏食、武器なしの三拍子で、コアラの特性は生き残る上では理想的とはいえない。専門家によると、今回の火災によるコアラの絶滅の危機はないが、生息地域がさらに狭まる可能性はあるという。

気の毒なのはラクダで、水を求めて住宅を襲ったりしたのだから、五〇〇頭がスナイパーに射殺されることとなった。ラクダは、一九世紀に砂漠の輸送手段としてインドからこの地に連れてこられた時には二万頭にすぎなかったが、いまや一〇〇万頭を超えたという。意外なことに、オーストラリアは世界一のラクダ大国なのだ。環境に適応して大繁殖したが、人の反感を買って殺された。⑥強者に憎まれると進化は成り立たないともいえる。

⑦反対に、環境の変化は好機、とばかりに繁殖する生物もいる。アフリカ東部では、バッタの大量発生に悩まされている。⑧サブクトビバッタといわれる種類で、成虫だとその体長は五センチと大きく、移動速度は一日一三〇キロと速い。このためひとたび大発生が起きると、深刻な農作物被害が広範囲に及んで、大変な食糧難を引き起こす。

国連食糧計画が二〇二〇年一月に発表した内容によると、「アフリカの角」といわれる北東部で、サブクトビバッタが二五年ぶりに大量発生しているという。ソマリア、エチオピア、ケニアといった国々で被害が出ており、今後はさらに周辺国に拡大する恐れがある。一部の農民は、すべての収穫を失ってしまったと話す。それもそのはず、バッタは大群をなして生息し、その密集具合たるや、一キロ四方で一億五〇〇〇万匹にもなるという。彼らはたったニグラムの軽さであるにもかかわらず、自分の体重分の食糧を一日に必要とする。ざっと計算して、一キロ四方で一日三億グラム、つまり三〇〇トンの穀物が食い荒らされることになる。

異常発生の原因は何だろうか。それは二〇一九年から続く大雨と高温にある。アフリカ東部が面するインド洋西部で海水温が高い状態が続き、上昇気流が活発となって沿岸に大雨をもたらした。今後サブクトビバッタは、温暖化にもなつて生息地が拡大するリスクが指摘されている。それはこれらの地域で気温が上がり、雨が増えて、バッタにとって格好の環境となることが予想されているからである。

（森さやか『いま、この惑星で起きていること 気象予報士の眼に映る世界』 岩波書店）

※ 出題のため、一部本文を改変しています。

問1 ||| a・b・cの意味として最も適当なものをそれぞれ選び記号で答えなさい。

a 「幅を利かせる」

- ア 周りのものから頼られる
- イ とても大切に欠かせない
- ウ 長い道のりを移動する
- エ 思いのままにふるまう

b 「目まぐるしい」

- ア 深刻でどうしようもない
- イ 激しく落ち着かない
- ウ 注目するまでもない
- エ 状態が思わしくない

c 「格好の」

- ア ちょうどよい
- イ 慣れている
- ウ 苦手な
- エ 好みに分かれる

問2 文中の空欄 A、B、C にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア 例えば    イ しかし    ウ なぜなら    エ つまり

問3 ①「それ」のさすものを答えなさい。

問4 ②「いいところ取りの新種」とありますが、「いいところ取り」とは、「新種」のどのような特徴のことですか。簡潔に答えなさい。

問5 ③「この環境の急変」とはどのようなものか、具体的に五十字以内で答えなさい。

問6 D に入る言葉として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア 山を再生させることができるからである
- イ 新種の植物を生み出せるからである
- ウ 一部の動物を絶滅させることができるからである
- エ 独占的に成長できるからである

問7 ————— ④ 「この森林火災」について述べた文として、最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア 二〇一九年からオーストラリアの南東部を中心に起きている山火事により、世界遺産のブルーマウンテンズは八割が焼失してしまった。
- イ 二〇一九年のオーストラリア南東部における山火事により、昆虫も含めた十二億匹もの生物が犠牲になったという調査結果がある。
- ウ 二〇一九年からオーストラリア南東部を中心に起きている山火事が原因で、記録的な干ばつが起きたことが大学の調査でわかった。
- エ 二〇一九年はオーストラリアの観測史上もっとも高温な年であったために、暑さに耐えることができずコアラなど希少な動物が絶滅した。

問8 ————— ⑤ 「囁かれている」について、ここでの意味と同じように使われている文を次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア ヒーローは悪魔に囁かれた言葉をはねのけた。
- イ 伝言ゲームのお題が、私の耳元でひそひそと囁かれた。
- ウ あの野球選手は、今期限りで引退が囁かれている。
- エ 校長先生は小さな声で大切なことを囁かれていた。

問9 ————— ⑥ 「強者に憎まれると進化は成り立たないともいえる」とは、どういうことですか。最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア 生存競争が厳しい自然界では、弱者は強者に食べられてしまって生きられず、繁殖ができなくなるといこと。
- イ 環境の変化に適応をしたとしても、人間に害を与えたり嫌われたりする動物は、結局は生き抜くことができないといこと。
- ウ 自然界のバランスが崩れるほどに弱者の生存数が増えると、強者に敵対視されてしまうといこと。
- エ 人間に嫌われるような動物は、人間に都合のいいように品種改良され、自然な進化を遂げられないといこと。

問10 ⑦「反対に」とありますが、何と「反対に」のですか。答えとしてあてはまらないものを次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア ユーカリ
- イ ダンナート
- ウ コアラ
- エ ラクダ

問11 ⑧「サブクトビバッタ」の異常発生の原因は何か、二十字以内で答えなさい。

問12 ⑨「生息地が拡大するリスクが指摘されている」とありますが、なぜ「生息地が拡大する」ことが問題のですか。七十字以内でその理由を説明しなさい。

問13 次のア～オについて、本文の内容に合うものは○、合わないものは×を書きなさい。

ア ガラパゴスでは陸イグアナが食糧を求めて海に入っていくようになり、その結果、海イグアナと子どもを作って「ハイブリッドイグアナ」が生まれた。

イ ハイブリッドイグアナは海イグアナと陸イグアナのいいとこ取りの新種だが、繁殖能力がなく、子孫を残すことができないという重大な欠陥があった。

ウ オーストラリアでは山火事が日常茶飯事であるが、二〇一九年から起きている山火事の原因は、ユーカリが引火性のガスを大量発生したことにあった。

エ オーストラリアは世界一のラクダ大国だったが、ラクダは凶暴な性質で住宅を襲うなどして射殺され、現在では絶滅の危機に直面している。オ 異常気象によりアフリカ東部ではサバクトビバッタが大量発生しており、今後も温暖化にともなって生息地が拡大するリスクが指摘されている。

【以上】



受験 番号		名前	
----------	--	----	--

一

1 しょっけん 食券	2 じょがい 除外	3 きぬおりもの 絹織物	4 めいろ 迷路	5 ほうふ 豊富
6 しいく 飼育	7 のぞむ 臨む	8 しせい 姿勢	9 風情 ふぜい	10 蚕 かいこ

二

問1	a エ	b イ	c ア
問2	A イ	B エ	C ア
問3	餌であるサボテン		
問4	陸イグアナのように陸上で生きていける上に、海イグアナのように鋭い爪を持っていること。 (別解：海草を取ったり、サボテンによじ登ったりすることができること。)		
問5	か つ て な い ほ ど の 速 い ペ ー ス で 地 球 が 温 暖 化 し 、 陸 地 の 気 温 も 海 水 温 も ど ん ど ん 高 く な っ て い る と い う こ と だ 。		
問6	エ		
問7	ア		
問8	ウ		
問9	イ		
問10	ア		
問11	二〇一九年から続く大雨と高温。		
問12	サバクトビバッタは、大群をなして生息し、 自分の体重分の食糧を一日に必要とす るので、大量の穀物が食いつ荒らさ れることになるか。		
問13	ア ×	イ ○	ウ ×
			エ ×
			オ ○